

2023年度東北支部活動

12月9日(土)10:00~12:30

オンライン開催 参加費500円
申込締切 11月30日(木)
お申込みはマイページから



専門人材として地域日本語教育に関わる

2019年に公布・施行された「日本語教育の推進に関する法律」を機に、全国の自治体では地域日本語教育の環境整備に向けた動きが活発化しています。しかしながら地域日本語教育は依然としてボランティアに依存しており、専門家による初期日本語教育機会の不足や教育の質の保証などが課題になっています。一方で、地域日本語教育に役立ちたいと考えている日本語教師にとっても、地域日本語教育は対価を得られる仕事の間としての機会が限られているのも現状です。さらに、企業や自治体側にとっても、専門性のある日本語教育人材が見つけれないという問題もあります。こうした課題を解決するために、地域において、仕事として、企業や自治体からの依頼を受け、質の高い日本語教育を提供し正当な対価を得るという取り組みをしている団体があります。

そこで、今回は東北で活動する3つの団体を紹介します。地域で日本語教育の専門性を役立てることについて、みなさんの経験や知見を共有し、共に考えましょう。

10:10~11:40 東北で活動する3団体の紹介

一般社団法人
ふくしま多言語フォーラム
代表理事 永島恭子さん

多様なニーズに対応
できる専門家と地域を
つなぐ窓口になる

福島地域日本語教室の運営はボランティアが中心でしたが、技能実習生の増加により、ボランティアだけでは対応しきれなくなりました。そこで、企業や自治体と日本語教師をつなぐ窓口となり、多様な背景を持つ外国人住民に対応できる日本語学習支援を行う団体を立ち上げました。

NPO法人
ひろだい多文化リソースルーム
理事長 吉田美穂さん

子どもに特化した
「チーム」の支援で
持続可能な体制を作る

弘前大学の教育学部と連携協定を結び、青森県内で子どもたちの支援をしています。県内の教育委員会と連携し、多文化スーパーバイザーと支援員を学校に派遣しています。このほかにも、居場所づくりや学習支援などの活動も行っています。(『青森県版外国につながる子どもの教育支援ガイドブック』はこちら↓)

YURT (ユルト)
東北日本語教師協働会
事務局長 吉田環さん

地域日本語教育を
これから支える人材養成
にOJTで取り組む

長年、地域の日本語教育に個人として携わってきました。現在、地域の日本語教育における専門人材の必要性が増しているにも関わらず、宮城県ではその人材育成があまりなされていません。そこで、地域の日本語教育を仕事として請け負い、OJTの形で専門人材育成の機会創出に取り組んでいます。



11:45~12:15 対話のひろば

3つのブレイクアウトルーム(団体別)に分かれます。興味のあるルームを選び、話題提供者との質疑応答や参加者間での情報共有などを行い、さらに理解を深めます。

問合先 : 公益社団法人日本語教育学会支部活動委員会
Tel 03-3262-4291 Email : shibu@nkg.or.jp